



基本理念

- 1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
- 2. 心とこころをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

# JUSTICE

自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション

ジェイアール・イーストユニオン  
 発行者 菅野 一位  
 編集者 教 宣 部  
 〒105-0021  
 東京都港区東新橋 2-8-28  
 TEL(JR) 057-7333  
 TEL(NTT) 03-6452-9687  
 ホームページ検索  
 「JRユニオン」

## 「JR連合結成30周年」

### JR東日本これまでの労働組合の検証と私たちの労働運動2

#### 1. なぜ組織再編を繰り返すのか

それは歴史に学ばなければなりません。

これまでの間、左翼イデオロギー集団は、彼ら特有の純粋性(?)から運動方針なり、運動手法の異なりから組織化、派閥化をしてきました。

結果として少数で組織の中枢を制圧し、その組織のすべてを握り、その他の意見を抹殺・孤立させるという全体主義的な組織運営をするこ

とで時には意図的に少数派を離脱させてきました。例えば私たちも参画している「連合」の前の労働組合の集まりである「総評」はなぜ創られ、なぜ終焉をむかえた

のか。そしてなぜ「連合」は結成されたのかをご覧いただければと思います。

左翼全体主義は往々にして、その組織運営にあつては自ら敵対する組織をつくりあげ、その組織を「悪者」と既定し、

多くの無意識層に危機感をもたせ、手法上多数決を行使し「民主的である」として、数の論理で自らの組織の温存、拡大を図る目的で労働組合にパラサイトしてきました。

そのため労働者の権利、労働条件の向上といった労働組合本来の運動がなされないという理由で左翼イデオロギーに対抗する良識ある

労働者が、少数でも組織の大義、本来結成したときの思いを継承していく。これが我々の主張している『民主化闘争』であります。

これまで私たちは左翼的なJR労働運動をしてきた組織との統一に際し、民主的手法を守る上で、その動きにくさ

びを打つことができませんでした。私たちは、この会社の中で一時的に異端児になることを恐れず、社会正義にこだわる少数派組織になる

ことを選択した者として、会社に対し「説得のプロセス」と「証明のプロセス」を経て、未来を安定的に切り開くパートナーとして必要だと

思われる労働組合を創造するとの目的を持つて、最終的に第一組合をめざしていきます。

#### 2. JR東日本で目指すべき労働運動とは

私たちは、この会社で働くすべての組合員に自信と信念を持たせるため、一つの「自立と自律」を提起しています。

一つは社員としてこの会社に働くことの誇りを持ち、産業を担う一企業人とする精神的に自立すること。

もうひとつは自分自身をコントロールできる「自律」を身につけ、生産性のある労働を職場で実践することであ

ると考えます。  
 つまり自分の人生や仕事に裏付けをとることが大切であると思えます。裏付けは、自信であり信念、そして熱意にほかなりません。

#### 3. 人生の価値は自分を信じることに

人生の価値は、自分自身が自分をどれほど信じたかで決まると思いますが、だからこそ何があつても自分に対する絶対的な信頼を失わないで戴きたいと考えます。

#### 4. 労働組合の必要性と役割

新型コロナウイルス感染症拡大により、交通運輸産業をはじめ多くの産業が厳しい経営状況に追い込まれました。今こそ労働組合の必要性と役割が重要です。  
 (次号へ)